きたかた
よろこび多いまちづくり

社協だより

vol.50
平成31年2月1日号

主な内容

▸第14回喜多方市社会福祉大会
　表彰・ちいさなて優秀作品 ……… 2〜5
▸ふれあいだより ………………… 6〜7
▸共同募金御礼・実績報告 ……………8
▸よらんしょネット …………………9
▸生活サポートセンターほか ………… 10
▸寄付報告 ………………………… 11
▸在宅介護教室のご案内・高齢者生産活動
　センターからのご案内 ……………… 12

喜多方市社会福祉協議会公式
facebook

平成30年度赤い羽根共同募金
ご協力ありがとうございました。

第14回　喜多方市社会福祉大会

第14回喜多方市社会福祉大会は、平成30年11月21日（水）、来賓の皆様、市内の福祉事業関係者や市民の方々など、380名の参加をいただき、盛大に開催されました。

大会席上では、喜多方市の社会福祉向上や、共同募金運動に貢献された個人、団体にそれぞれ表彰状、感謝状が贈られました。

また、市内小中学校生から募集した「福祉作文」の優秀作品5編の発表も行われ、福祉に対する考え方や、学校や家庭で体験したボランティア活動を通じて感じたことなどが発表され、将来の福祉を担う児童生徒の意識の高さに感心させられました。（優秀作品はP3～P5に掲載）

記念講演は、元ラジオふくしまアナウンサーでフリーアナウンサーの大和田新氏をお招きし「伝えることの大切さ、伝わることのすばらしさ」と題し、東日本大震災被災者の取材活動を通じ、災害の恐ろしさ、備え、家族の絆、人と人とのつながりの大切さなど貴重なお話しをいただきました。

この大会を契機として、福祉のまちづくりの推進を図ることを、大会宣言として参加者一同誓い合いました。

【社会福祉大会会長表彰】
（多年にわたり地域福祉の充実に尽くされた団体）

しゃぼん玉の会
なつメロ会　はとぽっぽ
虹の会

【社会福祉大会会長感謝】
（社会福祉事業を理解し多額の寄付をされた方）

唐橋　幸市郎
山本　豪
藤川　美和子
高橋　敏衛
小汲　洋子

【福島県共同募金会長感謝】
（共同募金運動を理解し、平成29年度において多額の寄付をされた方・団体）

五十嵐　英子
刈米　次郎
神田　香
佐藤　徳衛
鈴木　孝子
須藤　俊一
塚原　ハルイ
東條　貞一郎
林　健一郎
星　孝司
矢沢　啓一
結城　志英吉
若狭　光子
渡邊　寅之助
塩川町誘致企業協議会
会津喜多方ライオンズクラブ
会津塩川ライオンズクラブ
会津よつば農業協同組合　いいで地区本部
医療法人　昨雲会職員一同
熱塩加納町瓜生岩子刀自顕彰会
株式会社 サクマコーポレーション
喜多方仏教会
社団法人 南町報徳社
満福寺

【福島県共同募金会長感謝】
（学校や街頭などで募金運動を行うなど、平成29年度において多大な貢献をされた団体）

喜多方市立　第一小学校
〃　第二小学校
〃　上三宮小学校
〃　第三小学校
〃　熊倉小学校
〃　豊川小学校
〃　慶徳小学校
〃　熱塩小学校
〃　加納小学校
〃　山都小学校
〃　第一中学校
〃　第二中学校
〃　第三中学校
〃　会北中学校
〃　塩川中学校
〃　山都中学校
〃　高郷中学校
福島県立　喜多方高等学校
〃　喜多方東高等学校
〃　喜多方桐桜高等学校
〃　耶麻農業高等学校
ガールスカウト福島県第17団
喜多方市ボランティア連絡協議会

（敬称略）

児童・生徒の福祉作文集

「ちいさなて」優秀作品のご紹介

本会では、次世代を担う児童・生徒の皆さんの福祉への理解と関心及びボランティア精神を育むため、市内の小中学校をボランティア活動普及事業協力校として指定し、各学校ごとに行われる福祉教育を支援しています。

こうした学校のボランティアや福祉活動及び地域や家庭での福祉体験を通して、日頃から感じていることなどを子ども達の目線で綴った、福祉作文集「ちいさなて」として発刊しております。

以下の作文5点は平成30年度の「ちいさなて」より優秀作品として選考され、平成30年11月21日に開催された「第14回喜多方市社会福祉大会」の席上で発表されたものです。

小学生の部　優秀作品

緑の少年団の活動とこれからの動き

喜多方市立松山小学校
五年　唐橋　君幸

松山小学校緑の少年団は、花を育てて配ったり、花だんやプランターの手入れなどをしています。

五月に学校のプランターに花苗を植えかえて育てます。プランターの側面には「松山小学校緑の少年団」と書かれたシールをはります。曜日ごとに分けられた班で、朝の活動の時間や放課後に水をやったり、雑草をぬいたり、花だんの世話もします。花だんは学年ごとに分けてありますが、水やりが不足しているときや手入れがあまりよくないときは、緑の少年団が中心となって世話をします。このような作業を繰り返しながら花を育てていきます。そして、育てた花をこの町を大きく支えてくれている施設へ持って行きます。プランターをいくつかに分けて持って行きます。

今年は、まず最初におじいさんやおばあさんをかいごしている施設「天心ケアハイツ」に届けました。自己紹介をしたり、あく手をかわしたり、多くのおじいさんやおばあさんたちと出会いました。

次に二手にわかれてプランターを届けに行きました。一つは「ほまれ酒造」と「村松郵便局」、もう一つは「松山公民館」「エクセディ」「河京」に届けました。ぼくは、「ほまれ酒造」と「村松郵便局」に届けました。自己紹介をしてプランターを渡しました。みなさんとても喜んでくれました。十月になった今でも玄関前にかざってくれています。

郵便局からは、ポストからのメッセージがありました。

「松山小学校緑の少年団の皆さんへ。いろいろなお花を届けてくださりありがとうございます。朝も昼も夜も毎日いっしょにいられてうれしいです。ポストより。」

と書いてあり、届けるのは大変でしたが、喜んでもらいとてもうれしかったです。こんなに喜んでもらえるとは思いませんでした。

これからも、緑の少年団の活動を活発にし、もっともっと緑を育てて、自然豊かなみんなの町にしていきたいと思います。

小学生の部　優秀作品

今度は、ぼくが

喜多方市立慶徳小学校
六年　大川原　慎斗

ぼくが「ボランティア」という言葉を聞いてまっ先に思い浮かべるのは、道徳の授業で学習した「チョモランマ清掃登山隊」です。これは、登山家の野口健さんを中心に、チョモランマや富士山のゴミをボランティアで片付けている登山隊です。

世界最高峰のエベレストにいたる登山ルートには、日本の登山隊が残していったゴミがたくさんあったことを教科書を読んで初めて知りました。野口さんはヨーロッパの登山家から「日本は経済は一流だけれど、マナーは三流だ。」と言われたのです。実は、野口さんもエベレスト登頂に成功したとき、疲れ切って酸素ボンベを置いてきてしまい、それが心の片すみにひっかかっていたそうです。そこで、（アジアの最高峰だから、アジアの人の手できれいにしたい。）と思い、野口さんは中国側のチョモランマ清掃登山に挑戦しました。ぼくは、野口さんが命を落とすかもしれない山で、千トン以上もあるゴミに立ち向かっているとおどろくと同時に、とてもすごいと思いました。

ぼくも、地区の資源回収に参加して、ゴミ拾いをします。学校では、緑の少年団として、プランターの水やりや草むしりなどをします。学校にお客様がいらっしゃる日は、朝の清掃もします。しかし、どの活動も自分から気付いて、進んで行動することは少ないです。友達がやっているから、親や先生に言われたから、ということが多いです。人のために役立つことをして得る喜びよりも、自分の楽しみを優先してしまいます。

しかし、ぼくの身近には野口さんのような人がいます。自分の損得を考えないで、ぼく達を支えてくれる人がいます。例えば農業支援員の方は、学校の田んぼや畑にこまめに来てくださいます。今年は雨が少なくて大変でしたが、学校で作った作物がちゃんと育ったのは支援員の方のおかげです。陸上大会のために、夏休み前から教えてくださる内島さんもぼくにとっては大切な存在です。陸上大会が近づくと、毎日のように学校に来てくださいます。本番の時は、ぼくの近くでアドバイスをしてくださったので、とても安心して自己ベストを出せました。三人目は、真木地区の人です。真木公園のゴミ拾いをやってくださいます。公園にはゴミが多いので、ありがたいです。登校するときに姿を見ますが、ぼくは恥ずかしくて何も言えません。でも、感謝しています。

このようにぼくは、多くの人のボランティアに支えられています。だから今度は、自分が人のために役立つことをしたいです。今、ぼくがぜひやってみたいこと、それは、地区に芝桜を植えることです。今までは、地区の人が一生けん命に植えているのを見ているだけでした。でも今度は、ぼくも一緒に植えたいです。野口さんの清掃登山とはスケールは違いますが、自然環境を守るという点では似ています。野口さんに一歩でも近づけたらいいです。

小学生の部　優秀作品

清そう活動に参加して

喜多方市立姥堂小学校
五年　大谷　千尋

「千尋、いなわ代湖で清そう活動があるんだけど、やってみないか。」

とつぜんお父さんが、わたしに話しかけてきました。わたしは、

「うん。いなわ代湖をきれいにするなら、行ってみたいな。」

と、まよわず答えました。いなわ代湖でどんな清そう活動をするのだろうと、わたしはとても楽しみでした。

そして、当日になり、わたしはお父さんといっしょにいなわ代湖にむかいました。いなわ代湖は広いので、わたしが思っていた以上にごみがたくさんあり、おどろきました。わたしは、ごみを拾いながら、お父さんにどうしても気になったことを聞いてみました。

「なぜこんなにごみが流れてくるの。」

お父さんは、

「ここに来た多くの人が、湖やすなはまにたくさんごみを捨てていくから、こんなにあるんだよ。」

と教えてくれました。わたしは、「なぜみんなこんなにごみをすてるんだろう。平気なのかな。」と思いました。

ごみは、すなはまにたくさん落ちていました。発ぽうスチロールが多く、ほかにもビンやペットボトルなども落ちていました。あまりのごみの多さに、わたしはだんだんつかれてきて、とちゅうでやめたくなりました。でも「いなわ代湖がきれいになるなら行ってみたい。」と自分から参加しようと思ったことを思い出しました。美しいいなわ代湖の景色を楽しみに、毎年たくさんの人がここにやって来るのです。こんなによごれたいなわ代湖を見たら、きっとがっかりして、二度と訪れることはなくなってしまうだろうと思いました。

いなわ代湖の清そう活動は、予想以上に大変でしたが、あんなに落ちていたごみがすっかりなくなり、きれいになったすなはまを見た時、わたしは、ボランティア活動に参加して、本当によかったと思いました。いなわ代湖のごみがなくなってきれいになったように、わたしの心も気持ちよくなったからです。

これから、また、ボランティア活動に参加する機会があったら、ぜひ参加したいと思います。

中学生の部　優秀作品

あいさつ運動

喜多方市立第二中学校
三年　長嶋　未悠

「おはようございます。」

　毎朝、私の所属する中央委員会は、学校の玄関の前に立ち、登校する生徒にこの言葉をかける。これは、あいさつ運動という喜多方二中の伝統的な活動の一つだ。挨拶をして、笑顔で返してくれる人もいれば、下を向いて返してくれない人もいる。毎朝挨拶をしていて、笑顔で挨拶を返してもらうと嬉しいなと感じることがよくある。あいさつ運動をやり始める前は、あいさつなんてしなくたっていいんじゃないか、明るく挨拶しようが暗くしようが変わらないんじゃないかと思っていた。だが、自ら挨拶をする側になってみると、やはり挨拶を明るく返してもらうと嬉しく感じ、返してもらえないと悲しく感じる。あいさつ運動を通して、私は、挨拶することの大切さに気づくことができた。

　まず、挨拶をするとなぜか気持ちが明るくなる。朝のどんよりした気持ちを取り払うのに最適だ。そして、コミュニケーションをとる一つの方法でもあると考える。初対面の人と話すときでも、笑顔で挨拶を交わすと、緊張がほぐれ、リラックスできる。また、挨拶をするだけで、笑顔になることもできる。このように、挨拶をすることにはたくさんの良い効果がある。これらの効果を知って、たくさんの人々が挨拶を交わし、笑顔であふれる世の中になってほしいと思う。

　でも、現実はそううまくはいかない。私たち中学生は、思春期まっただ中で、少しの事でも恥ずかしがってしまう。自分からあいさつすることも「ダサい」などと言って恥ずかしがるだろう。しかし、挨拶をするというのは、社会においては当たり前のこと、常識なのだ。思春期特有のほんの少しの恥ずかしさを取り払って、自分から挨拶できるようになれば、大人の階段を上ることができたのではないかと思う。

　これからは、挨拶を笑顔で明るく元気に行い、これまで以上にあいさつ運動を活性化すること。そして、まずは、喜多方二中が当たり前に挨拶できる人たちであふれるといいなと思う。それができれば、喜多方市、福島県も挨拶の飛び交う場所になることができると思う。そうなることができるように、私は、あいさつ運動により一層、力を入れていきたい。

中学生の部　優秀作品

ボランティア委員会の仕事を通して

喜多方市立塩川中学校
三年　山口　功二朗

　僕は、ボランティア委員会に所属しています。僕は、「ボランティア」に特別興味があったわけではありませんでした。しかし、何となく気になる委員会だったので、入りました。

　実際にボランティア委員会の仕事をしてみると、思っていたよりも、とても大変でした。ボランティア委員会で大変な仕事は、給食で飲んだ牛乳パックに関する仕事です。飲み終わった牛乳パックをそれぞれ自分で洗います。その後が僕たちの仕事です。みんなが洗った牛乳パックを一つ一つ丁寧にたたんだ後、たたんでいない牛乳パックに八枚から十枚程詰めていきます。しかし、きちんと洗っていない人が多く、とても嫌なにおいがし、仕事をしていてとても大変な時があります。

　それから、牛乳パックの水切りに使ったトレーとバケツを週に一回洗うのも僕たちの仕事です。金曜日の放課後に洗うのですが、冬には手が凍るくらい水が冷たく、とても大変な仕事です。しかし、これらの仕事を誰もしなかったら、どうなるのかを考えてみると、自分たちは大切な仕事を担当しているのだなとつくづく思いました。

　近頃、いろいろなところで災害が起きています。以前テレビで、自然災害による大きな被害を受けた地域のことが報道されていました。災害を受けた地域に駆けつけ、泥の掃き出しの仕事や、炊き出しのボランティアをする人たちの様子を見たことがあります。少しでも早く復旧できるように、少しでも被災された人の役に立ちたいと活動している人たちがたくさんいました。

　今の僕には、そのような大きなボランティアはまだできません。しかし、学校の委員会の仕事をはじめ、身のまわりには、僕にもできるボランティアがたくさんあると思います。小さなことでも、人の役に立てる、今の僕たちにもできることがある。そんな考えを持ち続け、将来自分に出来ることがあれば、迷わず行動に移せる、そんな大人になりたいと思っています。

喜多方地区 「上町にて福祉懇談会が開催されました!!」

11月29日に喜多方地区ふれあい福祉協議会主催の上町福祉懇談会が開催されました。実施にあたっては、町内会長や役員の方々をはじめ、婦人会、経壇長生会のみなさんのご協力をいただきました。

座談会では、冒頭、喜多方市の福祉の現状や、生活支援コーディネーターの役割について説明を行いました。出席された方から高齢者サロンについての質問があり、設立の機運が高まりました。

その後も、活発な意見交換がなされ、まずはお試しサロンを実施することになりました。

この日は、たくさんの方々にご出席いただき、色々な意見をいただきました。今後、他の行政区でも開催出来るよう、地域のみなさんのご協力をお願いいたします。

熱塩加納地区 『団子さし』たのしい～

1月8日、小正月行事の『団子さし』を夢の森で開催し、15人の親子が参加して楽しみました。

この日は赤十字奉仕団のみなさんのご協力で、子どもたちに団子さしの意味などをわかりやすく説明しながら、団子や飾り物を飾りました。子どもたちは体に粉を付けながら夢中になって団子さしをしていました。

だんごをさした木(ミズキ)は、それぞれのご家庭に飾ってもらえるよう持ち帰っていただきました。

みんなで飾りつけしたものは、夢の森エントランスホールで披露し、来場されたお客様に楽しんでいただきました。

塩川地区 塩川デイサービスセンターに 今年もサンタがやってきた!

クリスマス間近の12月中旬、塩川デイサービスセンターにサンタクロースがやってきました。利用者さん一人ひとりに「元気で過ごしてください」とプレゼントを手渡しました。

その他、クリスマスケーキや、職員が練習を重ねたハンドベルの演奏もあり、一足早いクリスマスをみんなで楽しみました。

ふれあい

高郷地区　祝100歳おめでとうございます!!!!

　高郷デイサービスセンター「かたくり荘」をご利用いただいている2名の利用者さんがそろって100歳を迎えられ、賀寿をお祝いしました。
　職員手作りのメッセージボードと花束のプレゼントに笑顔がこぼれ、他の利用者さんたちも、「私も100歳まで頑張って、お祝いしてもらおうかしら」と笑顔で話されておりました。

◀福地　ミチさん

堀井　進さん▶

山都地区　デイサービスクリスマス会

　耶麻農業高校の生徒さんがデイサービスクリスマス会でフラダンスを披露してくださいました。手作りの華やかな衣装で、南国気分のクリスマスを味わいました。

陶芸教室会員募集のお知らせ

**　喜多方市社会福祉協議会塩川支所では、陶芸教室の会員を募集しております。**
**　世界に一つだけの作品づくりや、会員同士の楽しい交流など、新しい年を迎え、新たな生きがいづくりとして、陶芸をはじめてみませんか?**

募集期間　平成31年2月1日～3月31日
（開講後、見学してからの入会も可）

開講期間　平成31年5月上旬～11月下旬

会員資格　概ね55歳以上で
喜多方市在住の方

問合せ・申込み
喜多方市社会福祉協議会
塩川支所　☎ **0241−27−3948**

「気軽にはじめよう!身近なボランティア」開催しました!

　平成31年1月19日(土)、喜多方市総合福祉センターにおいて地域の福祉力向上事業「気軽にはじめよう!身近なボランティア」を開催しました。
　この事業は、福島県社会福祉協議会との共催事業で、喜多方東高校家庭クラブをはじめとするボランティア活動の発表の後、災害用炊飯袋を使ったご飯を喜多方市ボランティア連絡協議会の皆さんのお手製カレーによる試食体験を行いました。後半は群馬県で地域福祉活動を実践されている高山弘毅氏から「災害時のボランティア・支え合い活動について」と題し、災害時への備えや心構えなどについてご講演いただきました。
　当日は、市内外から130名を超える参加があり、参加者からは「気軽にできるボランティア活動が身近にあったことを学び、今後、ぜひ活動に参加していきたい」などの声が多く寄せられました。

平成30年度赤い羽根共同募金運動

実績報告

御礼

今年も赤い羽根共同募金運動が十月一日より全国一斉に実施されております。

福島県共同募金会ではボランティア団体やNPO活動の支援のための「地域課題解決型募金」を三月三十一日まで引き続き実施しておりますが、本市におきましては、市民一人ひとりの善意や、関係各位の多大なるご協力を賜り、本年度の募金活動を無事に終了することができました。

皆様には、赤い羽根共同募金運動の趣旨をご理解いただき、地域のたすけあいの輪を広げるためのご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

赤い羽根共同募金や歳末たすけあい運動へお寄せいただいた寄付金は、地域で援助を必要としている方への支援や、地域の社会福祉の増進のための活動等に役立てられます。

今後も皆様の善意を様々なかたちで、地域に根ざした福祉活動の拡充に努めてまいりますので、〝自分の町を良くするしくみ〟である共同募金運動への変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

平成三十一年二月

喜多方市共同募金委員会長
喜多方市社会福祉協議会長
武藤　顯夫

一般共同募金	**8,237,627 円**
歳末たすけあい募金	**4,149,305 円**

（地区別実績額）　　平成31年　1月 21 日現在

地　　区	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
喜多方地区	4,500,736 円	1,658,275 円
熱塩加納地区	426,363 円	534,700 円
塩川地区	2,210,716 円	1,121,418 円
山都地区	737,316 円	562,412 円
高郷地区	362,496 円	272,500 円

共同募金は地域の「ふ(だんの)く(らしを)し(あわせに)」のために活用されています

●広域的地域の福祉の向上として

○広域的福祉課題（福祉施設の整備等）に取り組む福祉団体等への活動支援
○災害に備えた準備金

●喜多方市内の福祉の向上として

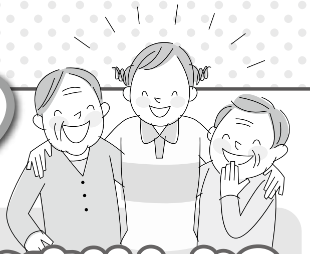
○高齢者の支援として・・・高齢者いきいきサロン、ミニサロン等交付金事業　他
○ボランティアの推進として・・・傾聴ボランティア、福祉レクリエーションボランティア　他
○児童・生徒の福祉教育として・・・サマーショートボランティアスクール、除雪ボランティア、ボランティア活動普及校 他
○子育て支援として・・・おもちゃ図書館、子育てボランティア　他
○一人暮らし高齢者への支援として・・・友愛の年賀状、おせち料理配食　他
○福祉団体の支援として・・・障がい者団体、老人クラブ、民協連合会　他

その他、ふれあい社会福祉講座、在宅介護教室などの喜多方市における様々な福祉事業に活用されています。

社会福祉法人　福島県共同募金会　喜多方市共同募金委員会

喜多方市地域包括支援センターだより

“よらんしょネット”



介護疲れ・介護ストレスを抱えこんではいませんか？

毎日休みなく続く介護は気づかないうちにストレスや疲れをためこんでしまうことがあります。介護疲れは介護離職や介護うつを引き起こしたり、知らず知らずのうちに高齢者虐待に繋がっていく危険性が生じたりと社会問題にもなっています。ご本人はもとより介護者が元気でいることがとても大切です！

【介護ストレスの発生要因】

高齢者

・病状の悪化による自立度の低下（だんだんと体の機能レベルが落ちてくる）
・認知症の症状による言動や行動
・サービス拒否
・性格（わがまま、頑固、几帳面すぎる等）

様々な人間関係

・折り合いの悪さ
・依存
・老老介護
・社会からの孤立
・サービス事業所との相性

介護者

・肉体的、精神的負担
・相談相手がいない、孤独感
・介護者自身の病気や障がい、体調不良
・介護に関する知識不足
・仕事等との両立
・経済的不安　・性格 等

心の負担を軽くする【6つの心得】

①	がんばらない	あるがままを受け入れ、頑張りすぎなくていいんだと、まずはご自身に優しくなりましょう。
②	抱えこまない	介護保険サービスを利用したり、同じ悩みをもつ家族会等との関わりをもつことで抱えこまないようにしましょう。
③	弱音を吐く	きれいごとだけではすまないのが介護。不満ややりきれない気持ちはあって当たり前なので弱音や愚痴は我慢せず吐きだしましょう。
④	くらべない	介護に正解はありません。他のケースを参考にすることは悪いことではありませんが、症状の現れは人それぞれなのでくらべないようにしましょう。
⑤	この先をイメージする	今の状況がいつまでも続くわけではありません。人生の終わりを迎えるときにご本人やご家族が心穏やかにいられるように「いま」を大切に過ごしましょう。
⑥	専門家に相談する	介護は一人で抱え込まずに必ず複数人で分担しましょう。介護保険サービスを有効に利用しましょう。

＊地域包括支援センターは皆様の介護が健やかに続けられるようにお手伝いさせていただきます。いつでも気軽にお問合わせください。

3職種（保健師・経験のある看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー）で相談に応じます。

喜多方市地域包括支援センター

●本所　0241（21）8856 喜多方市総合福祉センター内

●熱塩加納サブセンター　0241（36）2336
熱塩加納保健福祉センター「夢の森」内

●塩川サブセンター　0241（28）1253
塩川保健福祉センター「いきいきセンター」内

●山都サブセンター　0241（38）3139
山都高齢者生活福祉センター「しゃくなげホーム」内

●高郷サブセンター　0241（44）7111
高郷高齢者生活福祉センター「かたくり荘」内

生活サポートセンターの生活支援について

「喜多方市生活サポートセンター」では、**経済的な問題**や**就労に関する悩み**など、様々な不安や課題を抱えた方の相談をお受けしています。**ご相談は無料です。**

- **どこに相談していいかわからない**
- **仕事を探しているが、なかなか決まらない**
- **電気、ガス、水道代が支払えない。数日後に止まると言われた。**
- **収入が不安定で、生活が苦しい**

お困りの状況や生活を一緒に考え、整理していく相談窓口です。また、状況に応じハローワークや他関係機関への同行支援も行います。

ご相談は…
☎0241－23－3231まで

教育支援資金貸付のご案内

福島県社会福祉協議会が実施主体で、喜多方市社会福祉協議会が窓口の貸付制度です。他の貸付制度が利用できない低所得世帯などを対象に、進学にあたり経済的にお困りの方にお貸ししています。現在、在学中の方も利用できます。

対象世帯など、詳しくは本所又は各支所までお問合せください。

ホームページまたは生活福祉資金パンフレット等でも内容をご覧いただけます。

貸付種類	対象経費	貸付限度額
教育支援費	◆修学に必要な経費 授業料、参考書、学用品、交通費（通学定期）、賃貸アパート家賃など （食費、光熱費等は原則として対象外）	高等学校…月額 35,000円以内 高等専門学校…月額 60,000円以内 短期大学…月額 60,000円以内 大学…月額 65,000円以内
就学支援費	◆入学に際し必要な経費 入学金、制服、教科書等入学時に一括で購入する経費	500,000円以内

これからの活躍を期待しています！
～平成30年度介護職員初任者研修～

５年目となる今年の「介護職員初任者研修」は、夜間コースのみの開催となりました。

７月３日から週２回、延べ49日131時間の講義や演習、実習を終え、修了テストに合格された15名の受講生に、12月27日の閉講式で武藤会長から修了証を交付しました。

ほとんどの方が仕事をしながらの受講で、ご本人の努力はもちろん、ご家族の理解や協力があってのことだと思います。

これまで５年間この研修で112名が修了されました。一人でも多くの方が喜多方市の介護の分野で活躍されることを願っています。

～ほっとNEWS～

市民の方からのお手紙

今年も匿名の市民の方から、善意のご寄付が届けられました。お元気でいらっしゃること、職員一同安心いたしました。お手紙では、いつもあたたかいお言葉をいただき、力がわいてきます。いつもありがとうございます。ここにお手紙を紹介させていただきます。

職員の皆さん　お元気ですか。
いつの間にか吐く息が白くなるころとなり、温かい鍋が恋しい季節となりました。職員の方々は高齢者のために仕事に専念されていると思います。
大変ご苦労さまです。
今年は台風が次々に発生し、列島のあちらこちらでこれほど自然災害が繰り返された年があったでしょうか。建物が水にのみ込まれる、土砂に押しつぶされる、強風でバラバラになる、日常の暮らしが一瞬にして失われるむごい光景を何度見てきたことでしょうか。困難にうちひしがれながらも雄々しく立ち上がり頑張る姿にたゞゝ頭の下がる思いです。
先日、認知症の方を介護されている職員の方が「人の手を借りなければ生きてゆけない人たちにもプライドはあります。無念さもあります。たゞ言わないだけ、言えないだけなのです。」と言われて、相手の気持ちを考えられない自分にハッとしました。個人尊厳を忘れてはいけないと。心の裡を、声なき声を汲み取ってやれるような職員をめざして下さい。
職員の皆さん、健康に気を付けて高齢者のために頑張って下さい。
皆さんが暖かくしてくれるから安心しています。
季節柄、職員の皆さん　ご自愛をお願いします。　　一市民より

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立たせていただきます。
（平成30年10月1日～12月31日受付分）（順不同・敬称略）

一般寄付

・山本　豪
・熱塩加納地区ふれあい福祉協議会

物品による寄付

・山口　稔
・外島　英雄
・小野　清一郎

ご遺志による寄付

喜多方地区

慶徳町新町　鵜川　公夫
豊川町綾金　馬場正二郎
上三宮町見頃　棚木　良子
岩月町下岩崎　小枝　政之
上町東区　志賀　幸夫
寺町二区　田場川　峻
岩月町上田　星　通
豊川町渋井　内海　栄
松山町坂井　長澤　敏衛
東京都練馬区　三浦　昌司
豊川町太田　新田　賢治
豊川町下高額　矢部眞喜子
上三宮町五分一　飯野　善幸
上三宮町岩沢　清水　浩二
桜町　堺　千枝
豊川町太郎丸　長澤　郁夫
東四ツ谷　渡辺　忠之
松山町赤崎林　後藤　豊和
太郎丸　鈴木　恒義
慶徳町新宮　長谷部正仁
塗物町　長谷川　誠
東京都足立区　湯澤恵美子
慶徳町舞台田　小澤　光義
関柴町上高額　小椋　健一
神奈川県横浜市　齋藤キヨエ
熊倉町本林　森田　啓市
関柴町下柴　小林　美和
熊倉町七本木　折笠　孝行
郡山市　伊藤　栄司
豊川町一ノ堰一区　十二村政男
熊倉町熊倉下　塚野　純一
熊倉町熊倉上　山本　靖
熊倉町熊倉下　髙橋　祐一
熊倉町金沢　高橋　新一
上三宮町見頃　佐藤　常良
松山町中村　芥川　知己
花園町　薄　崇雄
松山町北桜ガ丘　佐瀬　憲一
上町西区　竹村　勝則
松山町百目二貫分　渡部　政志
上三宮町上三宮二区　大野　香
関柴町下勝　植村　満
慶徳町新宮　稲田　勇一
松山町百目二貫分　大房　隆
新仲町　関本佳代子
豊川町一ノ堰一区　佐藤　敏夫
慶徳町松野　生江　義市
岩月町稲田　小野寺善和
下町南部　鈴木　芳子
松山町坂井　佐藤　芳市
豊川町高吉一区　花見　康宏
上三宮町譲屋　田澤　庄信
西四ツ谷　遠藤　晃宏
西四ツ谷　江川　新治
岩月町宮中　髙橋　努
関柴町関柴　中森　正幸
関柴町京出　菊地　清見
関柴町東中明　永井　明美
豊川町綾金　五十嵐貞廣

熱塩加納地区

日中　遠藤　康成
赤崎　佐藤　謙一
日中　遠藤　秀明
宇津野　横山　善昭

塩川地区

下遠田　安藤　直人
金川　小瀧　浩由
源太　須藤　直
下利根川　神田　栄一
赤星　左雨信一郎
5区　鈴木　栄一
9区　石川　賢一
源太　湯浅　治
9区　五十嵐久美男
西常世　金子　豊
大木　邉見　英憲
沖　鈴木　正和
柴城　辰野　忠一
小出　服部　和夫
深沢　須田　繁
上遠田　大竹　健夫
源太　須藤　一夫
台　大場　達也
源太　東條八重子
別府　遠藤　研行
第六　眞壁　重昭
中屋敷　譲矢　正
上遠田　小熊　善範
上遠田　小熊　公榮

山都地区

舘原　佐藤　清
三ツ山　中島　幸子
寺内　真部　政司
沼ノ平　岩橋　昇
舟岡　齋藤　武彦
広野　真部　保夫
舘原　田代　義秀
小布瀬原　栗原　正人
河原田　永山　好子
上林　三富　勇二
広野　眞部　浩
寺内　高崎　正
舘原　折笠　新吾
沼ノ平　田中　修身

高郷地区

本村　貝沼　満
吹荻　横川　勝義
大谷　物江　和広
川井　後藤　学
田中　髙野　貞夫
西羽賀　渡部　新雄
峯利田　長谷川貴幸
吹荻　佐久間信行
東羽賀　宮下　信明
利田　宮川　信
塩坪　佐藤　悦子

資源回収にご協力ありがとうございます

喜多方市社会福祉協議会では、ペットボトルキャップ（エコキャップ）を収集し「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」を通じて寄付をする運動をしています。

ご協力いただいた皆様　※順不同・敬称略

＜エコキャップ＞

企業・団体

・きたかた商工会山都地区センター
・きたかた商工会女性部高郷支部
・本田金属技術株式会社 喜多方工場
・明治けんこう宅配喜多方店
・きたかた子育てサポートセンター
・SSKセールス株式会社 喜多方工場
・株式会社コウキコンサルタント
・きたかた商工会 女性部 塩川支部
・岩月児童クラブ館 保護者会
・塩川ライオンズクラブ
・会津北部森林組合
・山都小学校
・きたかた商工会 熱塩加納地区センター
・特定非営利活動法人 富夢富夢

個人

・佐藤　聖子
・田部　一朗
・山口　史明
・上味　マリ子
・鈴木　立子
・齋藤　美根子
・大野　稔
・中森　幸子
・五十嵐　末子

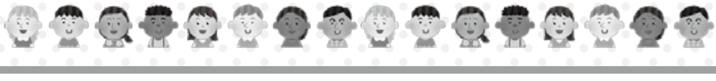
＜プルタブ＞

企業・団体

・きたかた商工会女性部高郷支部

個人

・上野　典夫
・中森　幸子
・矢吹　成子



エコキャップ運動へのご理解とご協力、ありがとうございます。
しょうゆ等のキャップが一部混入している場合がありますので、飲料用ペットボトルキャップのみのご提供をお願いいたします。
また、アルミ缶やプルタブは、リサイクル業者により資源となり、その益金は貸出用車椅子の購入等に充てられています。
※アルミ缶は水ですすぎ、乾かしてからお持ちいただきますようご協力お願いいたします。

お知らせ －INFORMATION－

平成30年度 在宅介護教室のご案内

在宅で介護をするって大変！でも、ちょっとしたコツや、介護保険サービスを上手に使えば住み慣れた自宅で、家族の負担を軽減しながら介護することができます。社会福祉協議会では在宅介護されている方や、これからの備えのために知っておきたい方を対象に、在宅介護にきっと役立つ内容の在宅介護教室を開催します。どなたでも参加できますので、お気軽にお申込みください。

日 時	平成31年2月22日（金） 13:30～16:00
会 場	喜多方市総合福祉センター 会議室
参加対象	どなたでも参加できます ＜定員20名＞
参加費	無料
申込み	2月19日（火）までに 社会福祉協議会本所・支所に 電話で申し込みください

	内　容
Ⅰ	**『安全な歩行介助・車への乗降介助のしかた』** 高齢になった家族の通院、買い物などの外出時、安全で負担なく歩行介助したり、負担なく車に乗降させるコツをお教えします。
Ⅱ	**『安心・快適なおむつの使い方』** おむつの機能や特性を100％活かすために、正しい使い方を学習します。正しい使い方で安心で快適な介護生活を目指しましょう。
Ⅲ	**ティータイム（フリートーク）** 在宅介護の疑問、苦労話、これからの心配、先輩としてのアドバイスなど…なんでも気軽に話し合いましょう！～美味しいお菓子も用意します～

※この事業は各行政区よりご協力いただいている福祉活動支援金を活用しております

喜多方市高齢者生産活動センターのご案内

センター展・体験教室のお知らせ

センター会員の作品展示・販売とあわせ、入会を希望される方に実際の活動を体験していただく機会です。施設の見学もあわせて是非お越しください。

開催期間 平成31年３月12日（火）～15日（金）の４日間

場　所 喜多方市高齢者生産活動センター（岩月町宮津字火付沢3567-1）

時　間 午前10時～午後3時

市内送迎バス運行コース（曜日により変更あり）（詳細はお問い合わせください）

行き　センター（8：50発）～北町公園～コープ東店～市立図書館前～喜多方駅（9：03）～押切体育館～コメリ松山店～JAよつば岩月店～センター（9：35）

帰り　センター（15：00発）「行き」と逆コースで運行。

＊公民館活動やグループ活動等での体験教室も受け付けています。

内　容 作品展示・販売および体験教室、入会申込み 可

【展示・販売】期間中は自由にお越しください。

【体験教室】午前10時～午後3時（実施日に注意）

グループ名	体験料（材料代）	体験者受入人数／内容
陶　芸	1,100円	毎日　10名／皿・丼・花瓶など
手　芸	600円	火曜日　５名／吊るし飾り（布）など
織　物	700円	木曜日　５名／裂き織りのテーブルセンター
押し花絵	600円	金曜日　５名／ブローチ作り
わら工芸	500円	火・木曜日　５名／輪〆、長〆縄

【体験申込】希望される方は、下記まで事前にご連絡をお願いします。（2月末締切）

【問い合わせ・申込先】
喜多方市高齢者生産活動センター
（喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1）☎0241-24-2297 鈴木・小林まで

平成31年度 会員募集のご案内

募集期間 平成31年3月1日開始 随時受付　**募集人員** 各グループ10名程度

活動時間 午前10時～午後3時まで（基本）

申込資格 市の区域内に住所を有するおおむね60歳以上の者

活動費用 年会費および材料費

☆**陶芸グループ**（週2回の活動）
（1班は火・木曜日、2班は水・金曜日）
粘土で茶碗や皿、花器などを作陶・販売

☆**手芸グループ**（毎週火曜日に活動）
吊るし飾り・編み物・バッグ・パッチワーク・起き上がり小法師などを製作・販売。

☆**織物グループ**（毎週木曜日に活動）
卓上織り機を使ってマフラー・コースター・テーブルセンター・バッグなどを製作・販売。

☆**押し花絵グループ**（月3回金曜日に活動）
乾燥した花々の押し花で、ブローチや絵ろうそく、しおり、額絵などを製作・販売。

☆**園芸グループ**（毎週火・木曜日に活動）
圃場や温室で草花を栽培し、販売。

☆**菌茸グループ**
春から秋にかけ年間40日程度の活動
椎茸を原木に菌打ち作業をして栽培し、生椎茸や乾燥スライス加工して販売。

☆**わら工芸グループ**
10月から12月を中心として年間50日程度の活動
ワラやスゲを使ってしめ縄や正月用玄関飾りを製作・販売。

＊現在137名の会員が生産活動のほか、センターまつり（6月）や地域イベントでの出店販売、グループ研修、合同交流会など、年間を通して楽しく活動しています。
＊年会費はグループにより異なりますので、詳細についてはお問い合わせください。

問い合わせ先
喜多方市高齢者生産活動センター ☎0241-24-2297
（喜多方市岩月町宮津字火付沢3567－1）

送迎バス運行コース

行き　センター発（8：50）～北町公園～コープ東店～市立図書館～喜多方駅～押切体育館～コメリ松山店～JAよつば岩月店～センター着（9：35）

帰り　センター発（15：00）「行き」の逆コース
※コースは曜日により多少変更になることがあります。

※きたかた社協だよりの作成経費は、福祉活動支援金・賛助会員会費及び共同募金配分金等を活用させていただいております。

編集 発行
社会福祉法人 喜多方市社会福祉協議会
〒966-0043 喜多方市字上江3646番地1
TEL 0241-23-3231　FAX 0241-23-3296
メールアドレス info@kitakata-shakyo.or.jp
ホームページアドレス http://www.kitakata-shakyo.or.jp/
●熱塩加納支所 TEL 0241-36-3112 FAX 0241-36-2776
●塩川支所 TEL 0241-27-3948 FAX 0241-27-3948
●山都支所 TEL 0241-38-3100 FAX 0241-38-3137
●高郷支所 TEL 0241-44-7111 FAX 0241-44-7112